

事業所名

児童発達支援センター 淡路こども園

支援プログラム

作成日

2025年

3月

14日

法人（事業所）理念	・本人主体の支援 ・家族支援 ・ライフサイクル支援				
支援方針	・身近な大人と信頼関係を築き、本人が自信を持って、要求や気持ちを伝えられるように支援します。 ・保護者が子どもの立場に立った理解を深め、親子関係・兄弟関係が良くなるように家庭、関係機関と連携を取りながら支援します。				
営業時間	8時	45分	17時	30分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・週1回親子日での聞き取り、日々の連絡帳により、家庭と本人の様子を共有。（睡眠時間、食事量、排泄の有無、検温、健康状態） ・提供する給食の進み具合の把握。 ・月1回の身体測定、年2回の内科健診、年1回の歯科健診。			
	運動・感覚	・日々の療育の中で粗大運動、微細運動を取り入れている。（園庭での乗り物、ブランコ、プレイルームでのマット運動、巧技台などの粗大運動。ブロック、積み木、型はめ、ハサミなどの微細運動） ・運動発達の講師に来園してもらい、運動面、発達面からの助言・指導を2ヶ月に1回実施している。			
	認知・行動	・子どもの困った行動、理解の難しい行動に対して、子どもの気持ちや立場に立って行動の理解に努めている。（自傷・こだわりなど） ・子どもの興味や好きなことを把握し、活動に取り入れ、興味や関心を広げられるようにしている。（音楽、数字、文字、感触遊び、乗り物など）			
	言語 コミュニケーション	・本人なりの表現（表情、仕草、言葉）から何を伝えたいのかを汲みとり、本人の訴えをしっかり受けとめ、気持ちに寄り添った対応を心がけ、本人から身近な大人に言いやすいように配慮している。 ・子どもの「イヤ」を快く聞き、本人がどうしたいのか確かめる。			
	人間関係 社会性	・本人の視線や表情をよく見て、本人が大人の関わりを邪魔と感ぜないように、さりげなく手を貸すなど、大人と一緒に居て安心したり、心地よいと思える経験を積む。 ・馴染みの職員が間に入りながら、友だちとの橋渡しをして、やりとりを支援している。 ・子ども10人に対して職員を4人配置、きめ細やかな対応をしている。			
家族支援	・グループ相談、個別相談、家庭訪問等で本人や家族、きょうだいの話を聞き、相談に乗っている。 ・週1回の親子日で、保護者と職員で子どもの現状を確認している。 ・家族で参加できるさまざまな行事を計画している。		移行支援	・入園に際して、丁寧にアセスメントを行う。 ・就園、就学については丁寧に引き継ぎを行う。	
地域支援・地域連携	・区役所との連携 ・相談支援事業所、または他の児童発達支援事業所 ・自立支援協議会への参加		職員の質の向上	・研修の機会を設けている。（子どもの発達について、虐待、人権、防災等）	
主な行事等	・親子遠足（春の丹波遠足、比良遠足、秋の丹波遠足、クラス遠足、おわかれ遠足） ・月1回ファミリーデー ・ふれあいまつり ・ミニミニ運動会 ・もちつき ・クリスマス会				